

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 27 年前期 **Tadamitsu Kishimoto International Travel Award**
研究発表報告書

申請者氏名	神岡 真理子	会員番号	0033559
申請者の 所属・職名	東京大学 医科学研究所 大学院生		
出席会議名	第 17 回 国際粘膜免疫学会 (17 th International Congress of Mucosal Immunology)		
発表論文 タイトル	Critical role of commensal flora-dependent type 3 innate lymphoid cells (ILC3) for the induction and regulation of Paneth cells		

実施結果:

この度は、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award を賜り誠にありがとうございました。

私は、2015 年 7 月 13 日～18 日にドイツ ベルリンにおいて開催された International Congress of Mucosal Immunology (国際粘膜免疫学会) において口頭発表を行いました。国際粘膜免疫学会は、腸管や呼吸器をはじめとする全身の粘膜面における免疫システムについて議論する国際学会であり、世界中から著名な研究者が集まり、どのセッションも非常に聴きごたえのある内容でした。また、若手研究者を中心とした口頭発表およびポスター発表においては活発な議論が交わされ、最新の知見を得ることができました。

今回私は、Epithelial Cells in Innate Immunity というセッションにおいて口頭発表を行う機会をいただきました。今回の学会は私自身にとって初めての国際学会参加であり、口頭発表により得られた緊張感や達成感は普段の研究生活にはない、非常に良い経験となりました。発表後には、会場の外においても自身の発表について様々な参加者から議論をもちかけられ、非常に参考になる意見を聞くことができました。今回の国際学会参加は、今後の研究生活におおいに役立つ重要な経験となりました。

国際粘膜免疫学会終了後、ベルリンからフランクフルトへ移動し、7 月 21 日に Georg Speyer Haus 研究所の Florian Greten 教授の研究室へ訪問しました。私の研究の中心である腸管上皮細胞のパネート細胞は、隣接する上皮幹細胞の維持に重要な細胞であることから、上皮幹細胞についての研究に興味を持ち、見学するに至りました。研究内容の話だけでなく、留学に必要な話も具体的に聞くことができ非常に有意義な訪問となりました。

最後に、このような機会を与えていただきました岸本忠三先生および選考委員の先生方、またご推薦いただいた清野宏先生に厚く御礼申し上げます。